



# ざ・神港労連

## 第65回定期大会開催 労働環境・安全作業の確保を 神港労連の更なる団結を！

十月十七日に神戸・フルーツフラワーにて第六十五回・神戸港湾労働組合連合会が役員、代議員合わせて五十九名の仲間が集結し開催した。また、来賓には、竹内中央執行委員長、岡部書記長、港運同盟兵庫地本から梶山執行委員長、全日検神戸から稲田委員長、神戸港湾から西澤事務局長にお越し頂きました。

続いて吉岡執行委員長による執行部を代表しての挨拶から始まりました。我々を取り巻く環境は依然として新型コロナウイルスに翻弄され、今年に入っても感染者は増減を繰り返しており、現場においては感染リスクにさらされながら、エッセンシャルワーカーとして厳しい環境下、人手不足のなか命懸けで作業に従事しております。また、猛暑が続く中、重度の熱中症も無く安全作業で乗り越えられた事に対して、まず以って組合員の皆様に対して敬意を表すると共にお礼申し上げます。

そして、港湾情勢であります

第84号

発行元

神戸港湾労働組合連合会

が、RTG遠隔操作、自動化・機械化をはじめとした様々な港湾政策に港湾労働者が翻弄され続けています。我々、專業労働組合の運動の根幹は現場で働く組合員の雇用と職域を守り、安心して働ける労働環境の確保と安全な職場を構築する事が一番であります。この事は本日提案する運動方針にも一番の主軸として掲げております。



(吉岡執行委員長)

今年の春闘を振り返りますと、港荷交渉や関連交渉では、大幅賃上げを獲得し、悲願でありました定期昇給制度を確立しまし

た。関連関係の定期昇給制度につきましては、中央港湾団交渉結後に協議を行ないます。

昨今、船社や荷主の利便性ばかりが先行されますが、我々、労働組合はこれまで諸先輩方が守ってきた神戸港の雇用秩序と常用港湾労働者中心の港を維持継続する事、さらに、発展させ労働者が働きやすい安全・安心な港であり続けるよう、努力をしていかなざりませぬ。

最後になりましたが山積する諸課題に立ち向かうには、十分に活動を総括し、運動方針について検討して頂き、次年度の活力につながる大会となりますよう、お願い申し上げます。と、挨拶された。



第六十五回・議長団

(北口代議員 山九神戸支店労働組合)

(大西代議員 神港作業労働組合)

2022年度

神港労連役員名簿

執行委員長	吉岡 幸治
委員長代行	崎田 克己
副委員長	荻田 邦秀
全	松田 行生
書記長	正木 一
書記次長	大石 浩二
会計	古澤 隼実
執行委員	菊屋 優彰
全	榮 恵輔
全	宮西 孝治
全	神崎 修治
全	大西 輝彦
全	鈴木 貴春
全	杉村 喜久
全	乾 孝博
全	川戸 努
会計監査	岡崎 正良
全	吉岡 裕太
特別執行委員	竹内 弘司
全	高島 一
特別相談役	西川憲一郎